

平成23年度

元気な企業 実態調査報告書 V



平成24年2月

商工業局



静岡県経済産業部

文字を美しく見せる技術

株式会社リムコーポレーション

所在地 浜松市西区村櫛町4598-9
代表者名 竹塚 直久
創業 昭和63年1月
資本金 19,000千円
従業員数 15人
主要製品 デジタルフォント、フォントエンジン
電話 053-484-4800
FAX 053-484-4810
URL <http://www.lim.co.jp/>



携帯電話に欠かせない技術

通話だけではなく、メールやインターネット等、毎日の生活に欠かせない携帯電話であるが、美しい文字の表示を技術的に支えているのが株式会社リムコーポレーションである。

同社は、他社が真似できない高い解像度や使いやすさを武器に、日本国内の携帯電話のデジタルフォントで7割という圧倒的なシェアを占めている。



海外向けプリンタで圧倒的なシェア

同社は、昭和63年に設立された比較的新しい会社であるが、当初は、海外へ輸出するプリンタのフォントを開発する仕事为主であった。当時、世界のプリンタのシェアの80%以上を日本製が占めていたが、アラビア語、タイ語等、特殊言語のフォントを作成する会社が日本に無かった。社長の最初から世界で勝負しようという強い信念の下、外国語のフォント作成を進めた結果、国内にライバルがいなかったこともあり、ほとんどのプリンタに同社のフォントが搭載されるようになった。

それまでは、外国のフォントを作成する場合は、海外の業者に発注していたのだが、

日本の会社と打ち合わせをしながら開発できるメリットは、発注業者にとっても非常に大きかったという。

携帯電話への参入

海外向けのプリンタで大成功を収めた同社であるが、次に目を向けたのが、液晶での光学表示である。同社は、光学表示が必要な時代が必ず来ると信じ、平成2年頃から光学的な美しい文字の開発を進めていた。

そのような中、同社に強い追い風が吹いた。「iモード」の普及である。これまでは、携帯電話では片仮名での表記であったが、メールの送信、インターネットなど、携帯電話での文字表示の需要が飛躍的に高まった。

果たして、これまで、研究・開発を進めていた同社は、携帯電話のフォントの7割のシェアを占めるまでになった。



留まることのない挑戦

携帯電話で圧倒的なシェアを占めた同社であるが、技術革新は止まらない。21世紀に入ってからは、これまでは点で文字を表示していたものを、人工知能により表示する技術を開発した。この技術により、文字を飛躍的に美しくすると共に、文字を無段階で拡大・縮小させることが可能になった。人工知能による表示は、現在では、携帯電話だけではなく、医療機器、カーナビ等、様々な液晶画面に使われている。

また、現在では、シリコンバレーに事務所を置くなど、世界市場への展開も視野に営業活動を行っている。

今回の訪問では、聞かせてもらえなかったが、社長の頭の中には新たな技術の柱があるという。近い将来、同社の新たな技術が世の中を賑わす日がきっと来るのだろう。

(文責：企業立地推進課)